



# こども110番だより

令和3年3月8日発行 第35号  
白井市小中学校PTA連絡協議会こども110番運営委員会

## ～こどもたちの安全のために、地域でできることを～

白井市小中学校PTA連絡協議会  
会長 近藤 健 司

早春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染症により様々な活動が制限された1年でした。感染対策を施しながらの活動を報告させていただきます。

### ■通学路「危険箇所」改善の要望に対する回答書

#### ◇◇◇「危険箇所」改善54箇所を要望◇◇◇

令和2年7月6日（月）市長室を訪問し、直接要望書を手渡しました。要望書の内容は、信号機の設置・調整が8箇所、横断歩道の設置・路面表示の補修が13箇所、道路整備改修・ガードレールの設置修繕が12箇所、カーブミラーの設置・修繕が2箇所、看板の設置・改修・移設が12箇所、その他の危険箇所7箇所でした。

7月20日（月）には通学路安全推進協議会議が行われ、2日間にわたり現地点検を行いました。その後白井市の担当課や県土木事務所、印西警察署等による要望に対する検討がなされ、令和3年3月5日（金）回答書をいただきました。例年、担当部局と市P連との対話形式での回答会を実施していましたが、本年度はコロナ禍及び「△」評価を年度末までの評価期間として、より詳細な内容を回答できるよう対話形式の回答会は4月以降に行う予定です。

#### ◇◇◇改善済み21箇所の回答◇◇◇

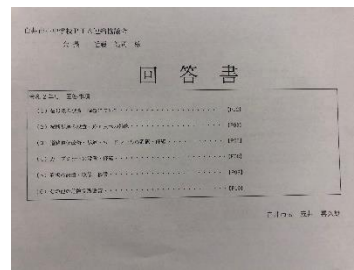
○→改善済み、△→代替案や次期計画、長期計画、直近（1年以内）で改善できるもの、✕→改善困難なもの、「-」→調査中や市から警察に要望しました等で改めて要報告としました。

結果、代替策（ガードレールの設置要望に対し車止めボールの設置）も含め改善済みが20箇所、△は無し、スペース等の関係から要望に達していないのは29箇所、警察署へ要望等5箇所でした。

比較的新しい街は道路等も整備され安全に配慮されていますが、そうでない地区もあります。現地調査に同行して感じたことは、PTAとして子ども目線での改善要望箇所と思われる場所、その地区でなければわからない場所が沢山あるということです。朝の通学路は子どもたちも集中しますし、通勤等で慌ただしい車両も多く、見守り活動は大切なものと感じました。学校区での登校指導は頻度の差はあるものの保護者の協力のもと、子どもたちの安全や安心に学校生活を送れることを願っています。

コロナ禍で在宅勤務の増えた方や時差通勤になり、子どもたちの通学時間帯に在宅している場合には交差点までいなくても、ご自宅前での見守り活動も大きな効果を生みます。子どもたちとの『おはようございます』の挨拶は私たちにも今日1日頑張るためのエネルギーとなります。

今後とも皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



### ■こども110番設置について

学校名	協力家庭	協力事業所
白井一小	80	60
白井二小	96	47
白井中	パトロールシート42	
白井三小	151	
大山口小	139	
大山口中		43
南山小	32	
池の上小	49	
南山中		50
清水口小	55	
七次台小	116	
七次台中		42
桜台小	310	
桜台中		38
合計	1028	280

#### ◇◇◇「こども」110番にご協力ください◇◇◇

「こども110番」にご協力いただける家庭、事業所および企業を随時募集しています。可能な方は、運営委員（各校PTA会長）に直接、または学校等を通じて連絡をお願いいたします。こども110番のステッカー、看板の色あせ、破損等は交換しますので、運営委員または各学校の教頭先生までお知らせください。

#### ◇◇◇ステッカーは保険加入◇◇◇

A5ステッカー（家庭用）、A3ステッカー（事業所用）は、こどもが変質者などから逃げてきた時、けが・急病などで助けを求めてきた時、一時的に保護・援助していただける方に掲示をお願いしています。子どもたちが逃げ込んできた際に花瓶に触れて壊れた、家人がつかずきドアにぶつかりケガをした等の場合は保険補償対象となります。

#### ◇◇◇パトロールシートの活用を◇◇◇

皆さんがパトロールシートを着用し、外出・事業活動を行うことにより、犯罪の抑止を図ることを目的としています。現在、市内全域で“子どもたちを見守る活動”として浸透して参りました。登下校時の見守り、学校への行き帰り・犬の散歩等にも活用ください。

#### ◇◇◇PTA 連絡協議会が行う意義◇◇◇

こども110番事業は、その多くが都道府県や市町村などの行政が主体となって行っており、行政が行うのか、PTAが行うのか、当時の町P連においても議論されたところでした。各校PTA会長は充て職として社会教育委員や行政の様々な委員会等の委員を務めており、「仮にこども110番が行政の事業で、それにPTAが協力をするという形だとしたら、私たちの子どもは私たちが守ろうという想いが月日とともに低下してしまうのではないかと行政に任せず、我々PTAで子どもたちを守ろう」という意見で当時の会長会是一致しました。現役PTA役員からは見えない方々（特に協力者探しに奔走した当時の単位PTA役員、自治会の支援、PTA役員OGやOB、地域のみなさん）の尽力の上にこども110番が成り立っています。これから少子化が進み現役PTA役員も減少することが予想されますが、様々な理由で自分たちが子どものために作り上げてきたものを、忙しいという理由で否定し、手から離し、外部に丸投げをするのは残念なことです。ぜひともPTA主体のこども110番をこれからも守り続けてほしいというものです。

### ■不審者情報

（令和2年度、3月5日現在）

白井中学校区・・・1件、大山口中学校区・・・5件、南山中学校区・・・2件、桜台中学校区・・・2件  
「いかのおすし（いかない、のらない、大声を出す、すぐ逃げる、しらせる）」等、不審者に遭遇した場合の対応について、ご家庭で確認してください。

